

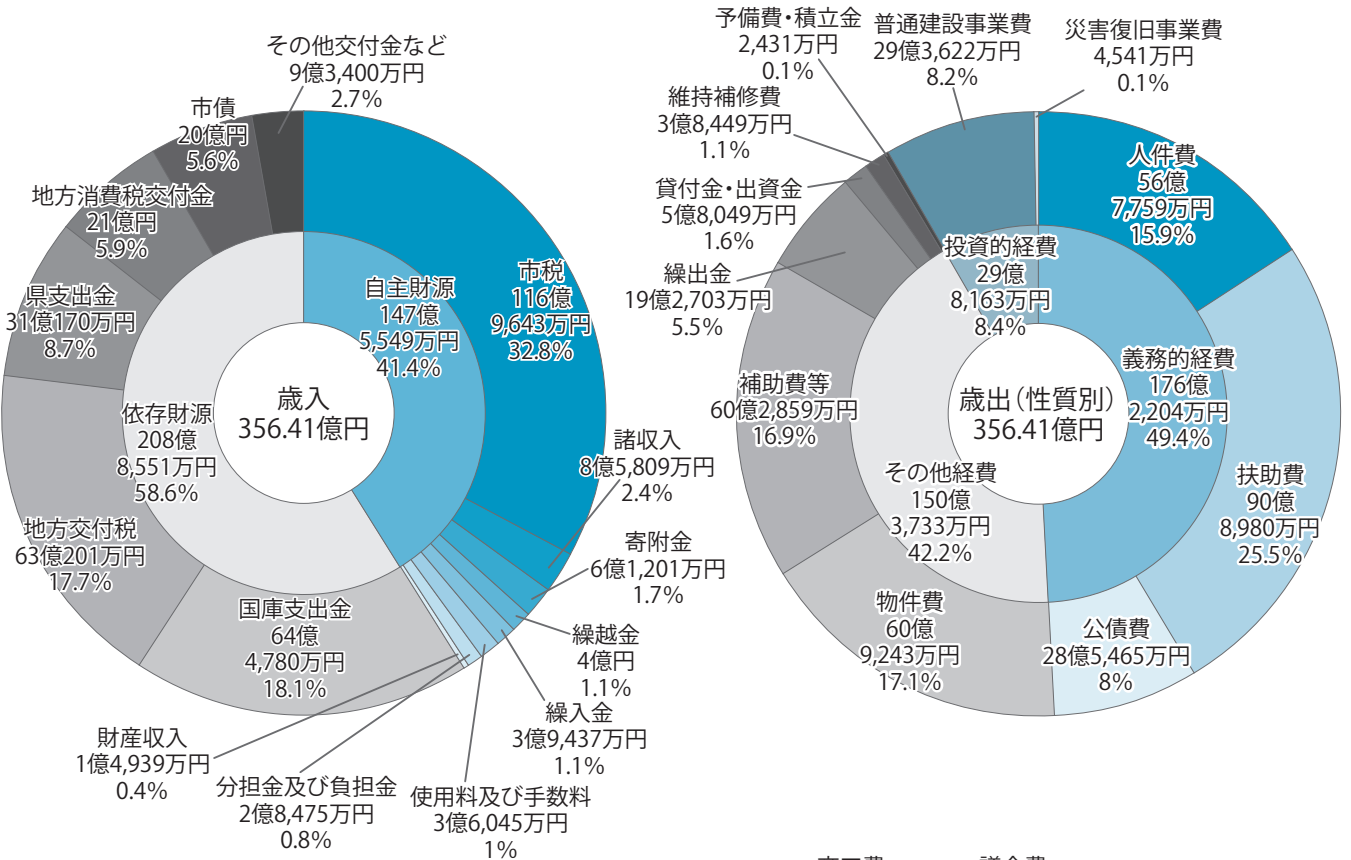
一般会計当初予算額は「356億4,100万円」  
令和8年度当初予算の概要

問財政課 本6階  
TEL 0287-23-8797

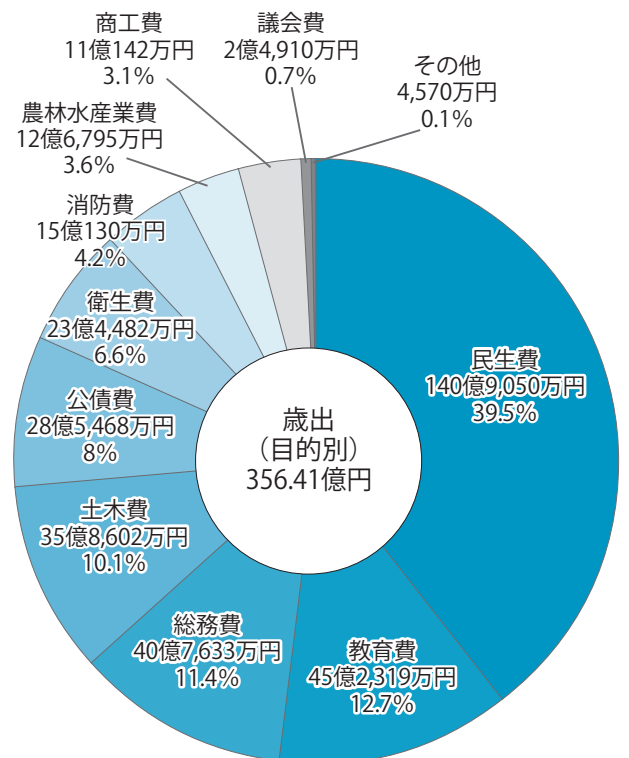
令和8年度予算は、国や県の制度を活用した小中学校給食費の無償化や、小中学校の屋内運動場への空調設備設置に向けた設計費用など、こどもたちの安全・安心で快適な教育環境整備の経費の拡大を図りました。

また、美原公園をはじめとする公共施設の再整備や廃止した施設の解体など公共施設マネジメントの推進を図るほか、観光推進として本市出身の大関和を主人公のモチーフとしたNHK連続テレビ小説の放送を契機とした、本市の魅力発信や観光推進・地域振興を図るための経費を盛り込んだ予算を編成し、一般会計の当初予算額は、前年度と比較して、5億8,500万円、1.7%増の356億4,100万円となりました。

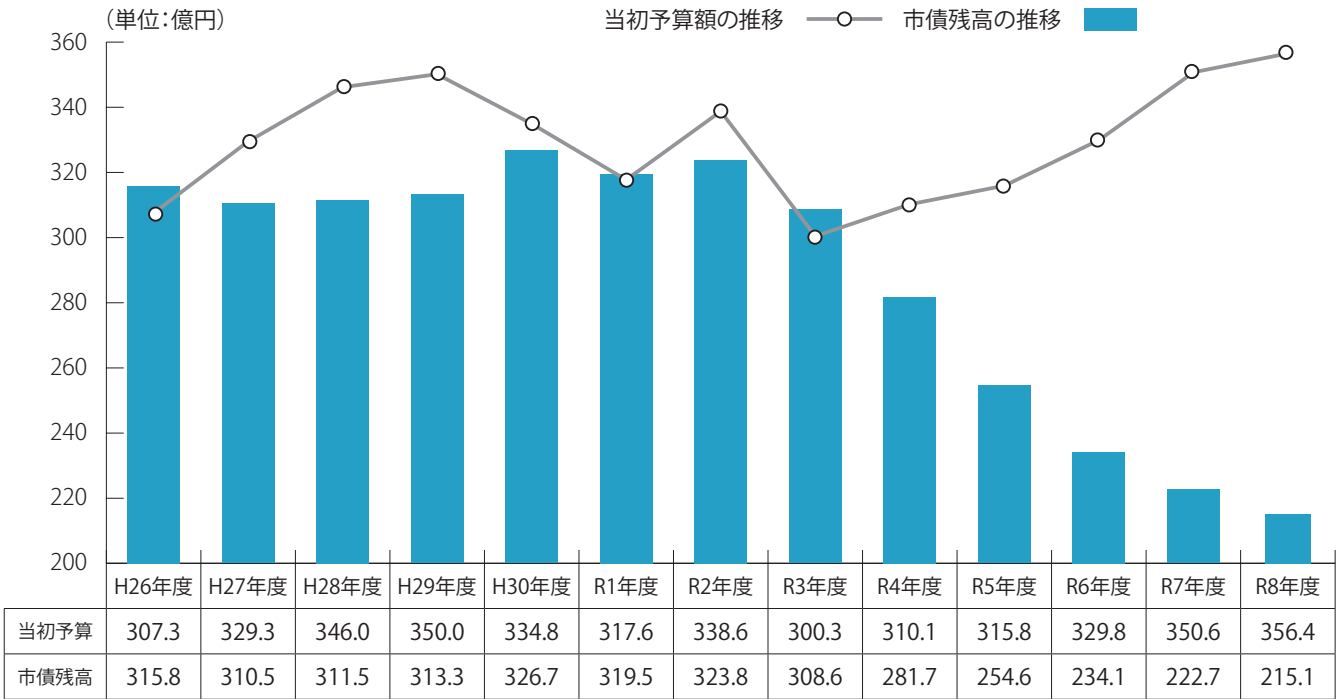
歳入の大部分を占める市税は、前年度予算と比較して3.7%増の116億9,643万1千円を見込んでいますが、その他国県支出金や交付税などの歳入については、国の地方財政計画などを考慮し、それぞれ適切に編成しています。



用語解説	
自主財源	市が自主的に収入できる財源
依存財源	国や県などから交付されたり、割り当てられたりする財源
市税	市民税、固定資産税、軽自動車税など、市に納めていただく税金
繰入金	他会計や基金(預金)などから一般会計に繰り入れする資金
繰越金	前年度の余剰金など
財産収入	市の財産の貸し付けや売り払いによる収入
地方交付税	市の財政が一定水準を維持できるよう、国から交付されるもの
市債	公共施設の建設などのために、国や金融機関から借り入れるお金
人件費	市長、市議会議員などの報酬や一般職員の給料など
扶助費	生活保護、児童福祉、高齢者福祉など要援助者に支出する経費
公債費	借り入れをした元金や利子の償還金
物件費	各種団体などへの負担金や補助金、報償金など
補助費等	消耗品費、光熱水費、委託料、使用料など
繰出金	一般会計から特別会計や企業会計へ支出される経費
貸付金・出資金	各種団体などへの貸付金、出資金
維持補修費	施設維持のための補修費
予備費	用途を特定しないで計上し、不測の事態に対応するための経費
積立金	各種積立金
普通建設事業費	道路、学校、公共施設などの建設経費など
災害復旧事業費	災害を受けた施設などを復旧するための経費



## ■一般会計の当初予算額と市債残高の推移



※市債残高は、令和6年度までは決算額、令和7年度は決算見込額、令和8年度は当初予算額です。

## ■特別会計・企業会計

特別会計は、前年度と比較して9,531万円の増額となりました。増額の主な要因として、後期高齢者医療特別会計において、後期高齢者医療広域連合納付金の増加が見込まれることなどがあげられます。

企業会計は、前年度と比較して7,800万円の増額となりました。増額の主な要因として、下水道事業会計における資本的支出が、流域下水道建設負担金の増加などにより5,987万円の増額となったことなどがあげられます。

特別会計	当初予算額	前年度比
国民健康保険事業費	74億6,400万円	1.6%減
介護保険	76億8,500万円	1.0%増
子育て支援券	1,591万円	2.0%減
後期高齢者医療	11億1,851万円	15.8%増
須賀川財産区	2,950万円	28.4%減

企業会計	当初予算額	前年度比
水道事業	26億6,500万円	0.4%減
下水道事業	30億8,800万円	2.9%増

## よいち家・1か月の家計簿 (円)

家計と市の財政では、規模もお金の使い道も違うため、単純に比較はできませんが、令和8年度一般会計当初予算(356億4,100万円)を、県内で平均的とされる年収510万円(1か月あたり約34万円)の世帯に例えてみました。

収入面では、「給料(市税)」、「借金(市債)」が増加した一方、「貯金の取り崩し(基金収入など)」は減少しました。

支出面では、「家族の医療費(扶助費)」、「家・車などの修理・買い替え(普通建設事業費など)」が増加した一方、「ローンの返済(公債費)」、「光熱水費(物件費など)」などが減少しています。

### 入ってくるお金 合計 34万円

給料(市税)	11万2,000円	(+ 3,000円)
パート収入(使用料など)	6,000円	(± 0円)
親からの援助(地方交付税・補助金など)	18万円	(± 0円)
貯金の取り崩し(繰入金など)	4,000円	(△ 4,000円)
借金(市債)	1万9,000円	(+ 3,000円)
その他	1万9,000円	(△ 2,000円)

### 使うお金 合計 34万円

食費(人件費)	5万4,000円	(± 0円)
家族の医療費(扶助費)	8万7,000円	(+ 3,000円)
ローンの返済(公債費)	2万7,000円	(△ 2,000円)
光熱水費などの雑費(物件費など)	5万8,000円	(△ 2,000円)
知人への援助費など(補助費など)	5万8,000円	(± 0円)
家・車などの修理・買い替え(普通建設事業費など)	3万2,000円	(+ 3,000円)
子どもたちへの仕送り(繰出金)	1万8,000円	(△ 1,000円)
貯金や知人への貸付など(貸付金・積立金など)	6,000円	(△ 1,000円)

※( )内は前年度比